

令和6年9月4日（水曜日）



## 【足立敏之議員】 インフラ整備で経済成長／支援者などと語る会を開催



日本のインフラを語る足立敏之議員

自由民主党の足立敏之参议院議員は3日、東京都港区の東京プリンスホテルで足立敏之君と語る会を開催した。建設産業界、物流業界などから集まった約1500人の支援者を前に「建設産業の再生なくして、日本の再生なし」「インフラの再生なくして、日本の再生なし」を訴え、公共工事の量と質の確保のため、国土強靱化実施中期計画の早期策定や、インフラ整備による経済成長が必要であるとの考えを示した。

岸田文雄首相からは「足立先生には、国土交通省での豊富な経験を生かし、参议院財政金融委員長として政権を力強くお支えいただいている。足立先生の掲げる防災・減災、国土強靱化の推進や、日本の国際競争力向上を支える交通物流インフラの再生は、生産性の向上を通じ、賃上げを実現し、日本の経済成長の原動力となると確信している」とお祝いのメッセージが寄せられた。

来賓には林芳正内閣官房長官、松本剛明総務大臣、谷公一衆議院議員、脇雅史元参院議員、陣内孝雄元参院議員、業界団体関係者などが駆け付け、被災地現場の最前線へ率先して赴く行動力、被災地での声に耳を傾け、切実な思いを踏まえた防災・減災、国土強靱化に取り組む姿勢などをたたえ、さらなる活躍に期待する声が相次いだ。

足立議員は「これから取り組まねばならないこととして、第1に公共工事の量と質の確保が最重要。公共事業予算の確保と労務単価の引き上げや品確法の改正などに努力してきた。これらを継続的に取り組んでいく。第2にインフラの再生が重要。高速物流ネットワークなど、日本経済の国際競争力を強化するためにもインフラ投資は不可欠と考える。第3に防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の後継計画となる実施中期計画の時期、期間、予算規模をしっかりとまとめていきたい」と意欲を示した。

また「林官房長官は総裁選に臨むに当たり、3つの不安として少子化、災害、外交防衛への対応を掲げている。災害対策においては防災・減災、国土強靱化をしっかりとやっていくという思いを共有している」と紹介した。